

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (H27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間 効果額合計 (千円)	取組の概要		
							H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	区分	H28年度 (千円)	H29年度 (千円)	H30年度 (千円)	R1年度 (千円)			R2年度 (千円)	
I 病院機能確保について	①高度医療の急性期病院	○一般病棟入院基本料7対1の維持	1	重症患者割合の維持	重症度、医療・看護必要度(%)	22.9	7対1入院基本料評価基準である25%以上を維持					I 収益向上	入院基本料7対1を維持することにより、入院基本料10対1と比較して、年間約120,000千円の収益が見込める。					重症患者を受け入れ、回復期の病院や介護施設への退院を促進することで、在宅復帰率を向上し、一般病棟7対1入院基本料を維持します。		
			2	在宅復帰率の向上	在宅復帰率(%)	88.6	7対1入院基本料評価基準である80%以上を維持													
			3	病床利用率に応じた病棟看護師の確保	病棟看護師数(人)	115	118	122	125	125	125									
		○DPCIによる医療の標準化・質の向上	4	機能評価係数Ⅱの向上	機能評価係数Ⅱ	0.0509	0.0614	0.0653	0.0711	0.0725	0.0758	Ⅲ体制整備	▲ 17,100	▲ 22,800	▲ 17,100	0	0		▲ 57,000	
			5	DPCIに関する研修会の実施	研修会開催回数(回)	2	2	2	2	2	2		▲ 5,130	3,990	▲ 598				▲ 1,738	
		○チーム医療の推進	○クリニカルパスの活用	6	専門チーム(NST等)の活動促進	パス適用患者数(人)	881	950	1,000	1,050	1,050	1,050	I 収益向上	13,000	5,000	7,000	2,000		4,000	31,000
				7	多職種カンファレンスの活動促進			950	957	971										
		9	電子カルテ委員会の開催	委員会回数(回)	0	0	6	6	6	6	6	I 収益向上	14,819	▲ 513	32,686				46,992	
					1	2	3													
					-	-	取組開始	⇒	⇒	⇒										
10	DPCデータを用いたパスの見直し		-	-	取組開始	⇒	⇒	⇒	小計	▲ 4,100	▲ 17,800	▲ 10,100	2,000	4,000	▲ 26,000					
			-	-	検討中	検討中														
											小計	9,689	3,477	32,088			45,254			
②二次救急医療の維持	○救急医療の継続・充実	○救急ワークステーション	11	救急当番日の拡充		-	-	検討・拡充	⇒	⇒	⇒	I 収益向上	地域医療支援病院の指定を維持することにより、年間約35,000千円の収益が見込める。					地域の二次救急医療機関として、地域医療機関の協力と連携のもと、現在の伊賀市2病院との輪番制による救急医療の継続に努めるとともに、救急当番日を増やすなど、救急医療の充実を図ります。		
			12	救急ワークステーションの運用		-	試行運用	本格運用	⇒	⇒	⇒									
											小計	0	0	0	0	0	0			
											小計	0	0	0	0	0	0			
③地域一次医療機関との連携	○一次医療機関との連携		13	紹介率の増加	紹介率(%)	66.2	地域医療支援病院評価基準である65%以上を維持					I 収益向上	地域医療支援病院の指定を維持することにより、年間約35,000千円の収益が見込める。					地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携や、年間を通じた多職種参加の研修会を開催していますが、引き続き地域の医療機関等との連携を強化・拡充し、適切な機能分担・機能連携を図ります。また、「地域医療連携委員会」や医師会を通して市立病院の情報提供を積極的に行い、紹介患者増を図ります。		
			14	逆紹介率の増加	逆紹介率(%)	61.6	地域医療支援病院評価基準である40%以上を維持													
	○医療・介護連携の推進	15	地域医療介護従事者研修の開催	研修会開催回数(回)	-	0	1	1	1	1	I 収益向上	2,000	300	300	300	300	3,200			
					5	8	8													
	16	退院支援の拡充	退院支援加算算定件数(件)	-	700	750	800	850	900	I 収益向上	2,510	▲ 78	288			2,720				
				752	739	787														
	○在宅医療の推進	17	在宅医療救急システムの拡充	登録件数(件)	66	120	120	120	120	120	I 収益向上	45	135	135	135	135	585			
					124	164	172					40	459	▲ 261			238			
60					75	90	105	120	I 収益向上	60		84	72	72	72	360				
53					106	77				86		356	70			512				
18	訪問診療件数の増加	訪問診療件数(件)	55	60	75	90	105	120	I 収益向上	60	84	72	72	72	360					
			43	221	256															
19	在宅支援看護外来の充実	実施件数(件)	-	30	72	108	144	180	I 収益向上	86	356	70			512					
			43	221	256															
20	訪問診療を踏まえたスキルアップセミナーの開催	セミナー開催回数(回)	2	2	2	2	2	2	小計	2,105	519	507	507	507	4,145					
			1	0	1					2,636	737	97			3,470					
											小計	2,105	519	507	507	507	4,145			
											小計	2,636	737	97			3,470			
④地域の特性を踏まえた病院	○産科の開設	21	産婦人科の開設		-	-	準備	⇒	開設	⇒	Ⅲ体制整備	平成29年度 基本設計・実施設計 平成30年度 施設及び機器の整備					市民が安心して出産できる環境を整えることは、少子化対策の重要課題です。産科の設置に向けては、産婦人科の機能と医師・助産師の確保について検討するとともに、許可病床の確保、分娩施設や医療機器の整備を行うなど、段階を踏んで取り組みます。			
					-	-	準備中	⇒												
	○小児医療の継続	22	小児科医師の確保		-	維持	⇒	⇒	⇒	⇒	I 収益向上	2,250	2,250	2,250	2,250	1,800		10,800		
					11,925	12,175	12,425	12,675	12,925	13,125		5,300	7,393	▲ 9,860				2,833		
	23	小児科外来患者の増加	小児科延べ外来患者数(人)	1,825	1,860	1,895	1,930	1,965	2,000	I 収益向上	No.44～45の効果額に含む					当院は、平成23年4月から「小児発達支援外来」を、平成26年1月から「小児救急医療センター」を開設し、伊賀地域における小児医療の拠点施設として非常に重要な役割を担っています。市民が安心して子育てを行えるよう、引き続き小児救急医療センターの運営に取り組みます。				
				2,031	2,164	2,190														
24	小児科入院患者の増加	小児科延べ入院患者数(人)	10,510	10,610	10,710	10,810	10,910	11,010	I 収益向上	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000					
			10,234	10,601	9,917															
○専門外来の拡充	25	専門外来の拡充による外来患者数の増加	専門外来患者数(人)	-	増員検討	⇒	⇒	⇒	⇒	I 収益向上	▲ 1,138	4,400	▲ 15,150				▲ 11,888			
				-	検討中	1人増員	継続													

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (H27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間効果額合計 (千円)	取組の概要
							H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	区分	H28年度 (千円)	H29年度 (千円)	H30年度 (千円)	R1年度 (千円)		
Ⅰ 病院機能確保について	④地域の特性を踏まえた病院	○患者アンケートの実施	27	外来・入院患者アンケートの実施	アンケート回数(回)	0	1 0	1 1	1 1	2 1	2 1						現在設置している「患者さま意見箱」の取組と併せて外来・入院患者さまに対して定期的にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めます。 再編・ネットワーク化による急性期機能の集約化を前提とした回復期機能の提供、または、現在の病床数に加えて回復期機能を担うため増床するなど、今後、地域医療構想を踏まえて、回復期機能をどのように担っていくかを検討します。	
			28	患者満足度の向上	患者満足度(%)	-	-	調査実施準備中	前年+2.5% →	前年+2.5%	前年+2.5%							
		○回復期機能の検討	29	回復期機能の検討		-	-	名張市立病院改革検討委員会・経営会議・地域医療構想調整会議で検討、令和2年度までに方向性を決定										
							小計									16,800		
							小計										▲9,055	
Ⅱ 医療従事者の確保について	①人材の確保	○医師の確保	30	常勤医師の確保(産婦人科医師を除く)		-	維持	⇒	⇒	⇒	⇒						大学をはじめ関係機関への継続した働きかけや、寄附講座の継続等によって常勤医師を引き続き確保します。 職種間の役割分担、医師事務作業補助者の増員、救急当直等に従事する非常勤医師の確保によって、医師の本来業務である医療行為に専念しやすい環境づくりを行い、負担軽減を図ります。 看護師等の産休や育休をはじめ、ワークライフバランスに適切に対応できるよう、医療現場の実態や必要性に応じた柔軟な定数管理、多様な雇用形態、適正な処遇により、医療従事者の確保を図ります。 病院事業の経営改革に強い意識を持ち経営感覚に富む人材を、外部からの採用も含めて、幹部に登用することを検討します。	
			31	医師事務作業補助者の増員	医師事務作業補助者数(人)	2	3 3	3 3	4 5	4 5	4 5	Ⅲ体制整備 ▲1,800 ▲1,800	0 0	▲1,800 ▲1,830	0 0	0 0		▲3,600 ▲3,630
		32	医師の負担軽減策の拡充	平均時間外・休日勤務時間数(時間/月)	68.6	66.0 65.5	64.0 71.5	62.0 76.7	60.0 10.9	58.0 10.9	Ⅱ費用削減 3,882 ▲49,641	2,986 2,986	2,986 5,208	2,986 2,986	2,986 2,986	15,826 ▲17,445		
		○医療従事者の確保	33	離職防止策の拡充	離職率(%)	10.2	10.0 8.0	9.8 7.0	9.6 10.9	9.4 10.9	9.2 11.2							
			34	多様な雇用形態・処遇														
		35	ワークライフバランスの確保	年次有給休暇取得率(%)	9.7	10.0 11.0	10.3 15.8	10.6 13.6	10.9	11.2								
		36	経営感覚に富む人材の登用		-	検討 検討中	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒								
								小計								12,226		
								小計									▲21,075	
	②人材の育成	○人事評価制度の導入	37	人事評価制度の導入		-	-	医療職実施 準備中	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒							実績に応じた給与体系導入の前提として、客観的に職員の実績を評価でき、かつ公平性・透明性を備えた人事評価制度を構築、導入します。 臨床研修プログラムの充実や病院説明会への積極的な参加により、初期研修医や新専門医制度による専攻医、医学生の積極的な受入につなげます。 医師、技師、看護師等の医療従事者が自らの専門性や知識の向上を図るため、認定看護師など外部研修や各種学会へ参加することを促進します。 健全な病院経営を推進するため、各種専門研修への参加を促進するなど、病院業務に精通した事務職員の養成に努めるとともに、専門性を向上するためプロパー職員の採用を検討します。
			○初期研修医・専門研修医・医学生の受入	38	初期研修医の確保	初期研修医人数(人)	8	6 6	6 6	6 7	6 6	Ⅲ体制整備 24,000	0	0	0	0	24,000	
				39	病院説明会への積極参加	説明会参加回数(回)	4	4 4	4 4	4 5	4 5	4 4						
			40	研修プログラムの充実		-	-	充実 検討中	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒							
		○研修・専門性向上	41	外部研修・学会への積極参加	研修参加回数(回)	403	410 390	415 309	420 285	425	430	Ⅲ体制整備 ▲231 ▲200	▲165 2,673	▲165 469	▲165	▲165	▲891 2,942	
42			認定看護師の増加	認定看護師数(人)	3	4 4	4 4	6 5	7	8	Ⅲ体制整備 ▲1,000 0	0 0	▲2,000 ▲1,400	▲1,000	▲1,000	▲5,000 ▲1,400		
43		事務局職員の各種専門研修への参加	研修参加回数(回)	22	24 34	26 23	28 30	30	32	Ⅲ体制整備 ▲36 ▲38	▲36 198	▲36 ▲88	▲36	▲36	▲36 72			
							小計								17,929			
							小計									37,614		
Ⅲ 経営の効率化について	①収入増加	○病床利用率の向上	44	看護部門と診療部門の連携強化	入院期間Ⅱでの退院患者割合(%)	54.1	56.0 44.9	58.0 45.7	60.0 47.1	62.5	65.0	I収益向上 241,000 ▲69,724	51,000 124,897	81,000 ▲246,353	101,000	86,000	560,000 ▲191,180	
			45	病床の有効利用(病診連携強化に伴う患者増を含む)	病床利用率(%)	79.1	82.5 81.2	83.5 87.2	84.5 78.5	85.0	85.0							
		○診療報酬制度への対応	46	レセプトの精度向上	査定率(%)	0.34	0.32 0.32	0.30 0.38	0.28 0.25	0.26	0.24	I収益向上 900 1,310	900 ▲1,432	900 5,988	900	900	4,500 5,866	
			47	新たな施設基準の取得	新規届出件数(件/年)	-	4 12	3 2	診療報酬改定による新基準も含めて施設基準を取得	6		I収益向上 3,800 15,232	8,700 3,511	0 28,541	0	0	12,500 47,284	
			48	医学指導料・管理料の算定率向上		-	推進 推進実施	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	I収益向上 600 1,394	600 1,378	800 3,483	0	0	2,000 6,255	
		49	手数料及び使用料の見直し		-	-	検討・実施 検討中	⇒ ⇒	⇒ ⇒	⇒ ⇒	I収益向上 0 0	500 0	5,000 0	0	0	5,500 0		
		○保有する資産の有効利用	50	検査件数の増加(CT・MRI)	検査件数(件)	16,458	16,858 15,810	17,258 16,638	17,658 14,958	18,058	18,458	I収益向上 6,800 ▲11,016	6,800 14,076	6,800 ▲28,560	6,800	6,800	34,000 ▲25,500	
			51	手術件数の増加(手術室実施分のみ)	手術件数(件)	1,202	1,300	1,460	1,620	1,620	1,620	No.44～45の効果額に含む						
		52	手術室の運用改善		-	維持	⇒	⇒	⇒	⇒								
		53	外科系医師の確保		-	維持	⇒	⇒	⇒	⇒								
		○未収金の回収	54	未収金の積極的な回収	未収金回収額(千円)	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	I収益向上 2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000	
			55	回収困難事案の債権回収業者への委託		-	2,278	2,621	3,296			I収益向上 2,278	2,621	3,296			8,195	
							小計								628,500			
							小計									▲149,080		

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (H27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間 効果額合計 (千円)	取組の概要											
							H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	区分	H28年度 (千円)	H29年度 (千円)	H30年度 (千円)	R1年度 (千円)			R2年度 (千円)										
Ⅲ 経営の効率化について	②支出削減	○実績に応じた給与体系	56	給与制度見直し		-	検討	実施	⇒	⇒	⇒	Ⅱ 費用削減	各種取組による収益の増加により比率を改善		人事評価制度の導入に併せて医療職に実績給(インセンティブ制)を導入するなど、モチベーション向上および医療収益の増加を図り、給与費比率の改善に努めます。														
			57	給与費対医療収益比率の改善	給与費対医療収益比率(%)	61.1	59.1 64.3	58.0 66.9	56.7 71.5	55.1	53.9																		
			58	業績評価に基づく給与体系		-	-	検討	⇒	実施	⇒																		
		○部門別原価管理	59	原価管理システムの導入		-	-	検討	⇒	導入	⇒					⇒	Ⅱ 費用削減	各種取組による収益の増加により比率を改善		部門別原価管理システムを導入し、各部門での収入と支出の管理及び経営分析を行い、経営改善につなげます。									
			○コスト意識の醸成	60	材料費の削減	材料費対医療収益比率(%)	25.1	23.6 21.9	23.2 21.2	22.8 18.9	22.3					22.0													
		61		経費の削減	経費対医療収益比率(%)	18.6	17.8 18.6	17.5 18.5	17.1 20.1	16.7	16.3																		
		62		後発医薬品使用率の向上	後発医薬品使用率(%)	37.2	38.0 37.8	39.0 39.3	40.0 36.0	41.0	42.0																		
		○時間外勤務削減	63	人員配置及び業務分担の見直し	平均時間外・休日勤務時間数(時間)	12.5	12.0 16.8	11.5 18.8	11.0 14.6	10.5	10.0					Ⅰ 収益向上					各種取組による収益の増加により比率を改善		SPDのデータの活用や、委託業務の仕様見直しによるコスト低減、後発医薬品の採用、再リースによる賃料の削減、ゴミの減量化・分別化による処理手数料の削減など、職員一人一人がコスト意識を高め支出削減に努めてきましたが、引き続き高額診療材料を中心とした材料費の削減や、廉価同等品への移行、後発医薬品の使用割合を高めるなど、職員皆が一丸となって取り組めます。						
			64	フレックスタイム制度の拡充		-	検討	拡充	⇒	⇒	⇒													Ⅱ 費用削減	各種取組による収益の増加により比率を改善		人員配置及び業務分担の見直し、フレックスタイムの積極導入、過重労働者への面接制度の活用により、給与費増加の一因となっている時間外勤務の削減を図ります。		
			65	過重労働者への面接実施		-	実施	⇒	⇒	⇒	⇒																		
		小計																											
		小計																											
		③施設・設備の維持・更新	○計画的な修繕・更新	66	更新計画書の策定		-	-	策定	実施	⇒													⇒	Ⅲ 体制整備	各種取組による収益の増加により比率を改善		経年劣化した施設や電気・空調等の「更新計画書」を作成し、計画的な修繕・更新を行います	
				67	購入計画書の策定		-	-	策定	実施	⇒													⇒					
				○市民ニーズに合った適切・効果的な投資	68	透析装置の更新		-	完了	-	-													-					-
69	検査機能の充実					-	-	検討	実施	⇒	⇒																		
小計																													
小計																													
④附属施設の取組 (i)介護老人保健施設ゆりの里	○利用率の向上	70	入所利用率の向上	入所利用率(%)	89.8	90.6	91.7	93.8	95.8	97.9	Ⅰ 収益向上	各種取組による収益の増加により比率を改善		関係機関との連携やサービスの質の向上、短期集中リハビリテーション実施加算等の新たな加算の取得に向けた取組、ターミナルケア、看取りの実施によって入所利用率の向上を図り、より一層の収益確保に努めます。															
		71	市立病院と一体化したベッドコントロールの検討		85.5	85.0	86.5																						
	○支出削減	72	給与費の削減(ゆりの里)	給与費対老人保健施設収益比率(%)	88.5	86.2 93.0	84.1 89.2	82.1 87.7	81.0	79.9					Ⅱ 費用削減		各種取組による収益の増加により比率を改善		市立病院と一体化したベッドコントロールを目指すなど、市立病院とのさらなる連携を図ります。										
		73	経費の削減(ゆりの里)	経費対老人保健施設収益比率(%)	28.6	28.4 29.8	28.3 29.5	28.2 30.1	28.0	27.9																			
	小計																												
小計																													
(ii)看護専門学校	○定員の増員	74	定員の見直し		-	名張市立病院改革検討委員会・経営会議で検討、令和2年度までに方向性を決定					Ⅰ 収益向上	各種取組による収益の増加により比率を改善		名張市や伊賀地域の安定した看護師確保につなげるため、1学年につき20名としている定員枠の増員を検討します。															
		○授業料等の見直し	75	授業料等の見直し	受験料・入学金・授業料収入(円)	23,600	26,420 23,760	27,980 23,425	31,100 23,700	35,780					40,460														
			76	地域活動への積極的な参加		-	推進	⇒	⇒	⇒					⇒														
小計																													
小計																													
Ⅳ 再編・ネットワーク	○再編・ネットワーク化	77	再編・ネットワーク化についての検討		-	名張市立病院改革院内検討委員会、名張市立病院経営会議、名張市立病院改革検討委員会、伊賀地域医療構想調整会議で検討、令和2年度までに方向性を決定					Ⅰ 収益向上	各種取組による収益の増加により比率を改善		当面は基幹3病院間の連携を図り、伊賀地域医療構想調整会議において、三重県、伊賀市及び関係機関と伊賀地域における病床機能の機能分化、機能連携について協議を重ね、また、医療法改正により創設された「地域医療連携推進法人」といった新たな制度の活用を検討します。あわせて、附属施設である介護老人保健施設ゆりの里及び看護専門学校も市立病院の再編・ネットワーク化に関する協議と併せてその在り方を検討します。															
		小計																											
小計																													

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (H27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間 効果額合計 (千円)	取組の概要	
							H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	区分	H28年度 (千円)	H29年度 (千円)	H30年度 (千円)	R1年度 (千円)			R2年度 (千円)
直V しに 経 営 形 態 の 見		○経営形態の見直し	78	経営形態の見直しについての検討		-	名張市立病院改革院内検討委員会、名張市立病院経営会議、名張市立病院改革検討委員会で検討、令和2年度までに方向性を決定										経営形態の見直しについては、さらなる経営の効率化や病院機能・サービスの質の向上などを介護老人保健施設ゆりの里及び看護専門学校も含め検討する必要があるため、引き続き「再編・ネットワーク化」の協議と並行して、より良い経営の在り方を検討します。		
							検討中	⇒	⇒										
							小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							小計	0	0	0	0	0	0	0	0				

【Ⅰ】収益向上効果額 合計(+)	280,382	79,536	107,524	116,725	103,276	687,443
	▲ 36,985	157,513	▲ 229,706			▲ 109,178
【Ⅱ】費用削減効果額 合計(+)	6,290	5,394	5,394	5,394	5,394	27,866
	18,773	▲ 59,271	25,110			▲ 15,388
【Ⅲ】体制・機能整備等による費用増加額 合計(-)	3,833	▲ 23,001	▲ 21,101	▲ 1,201	▲ 1,201	▲ 42,671
	16,832	6,861	8,553			32,246
【Ⅳ】第2次改革プラン実施計画による収支効果額 (【Ⅰ】+【Ⅱ】+【Ⅲ】)	290,505	61,929	91,817	120,918	107,469	672,638
	▲ 1,380	105,103	▲ 196,043			▲ 92,320
【Ⅴ】収益増に伴う経費及びその他経常的収支 合計(±)	▲ 111,505	9,071	25,183	3,082	▲ 19,469	▲ 93,638
	2,074	▲ 182,981	106,780			▲ 74,127
第2次改革プラン実施による収支効果額(【Ⅳ】+【Ⅴ】)	179,000	71,000	117,000	124,000	88,000	579,000
※ P.2 収支計画における医業損益の前年度からの改善額	694	▲ 77,878	▲ 89,263			▲ 166,447

※ 収支効果額には、No.21「産婦人科の開設」、No.66「更新計画書の策定」、No.67「購入計画書の策定」、No.69「検査機能の充実」に要する費用は、金額が定まっていないため、現時点では計上していません。
 ※ ゆりの里・看護専門学校の取組に係る目標効果額 (No. 70～71、75) については、医業収支に含まれないため、「第2次改革プラン実施による収支効果額(【Ⅳ】+【Ⅴ】)」には計上していません。